

水島製油所における超低硫黄(サルファーフリー)ガソリン生産設備の竣工について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、環境改善に積極的に貢献するため、昨年7月から、水島製油所(所在地:岡山県倉敷市、所長:蒲池正道)において、サルファーフリーガソリン(硫黄分10ppm以下)を生産するための設備を建設してまいりましたが、本6月9日、無事竣工いたしました。
2. 水島製油所では、本年1月からサルファーフリーのガソリンおよび軽油の出荷を行っております。軽油のサルファーフリー化については、昨年9月、既設の超深度脱硫装置(名称:第8水添脱硫装置、能力:22,000BSD)に反応塔を1基増設し(投資額:約15億円)、脱硫反応の苛酷度を上げることで対応しております。ガソリンのサルファーフリー化については、これまで既設の重油間接脱硫装置の苛酷度を上げることで対応してまいりましたが、今回の設備竣工により、今後はより効率的な生産が行えるようになります。
3. 今回、竣工したサルファーフリーガソリン生産設備の概要は次のとおりです。
 - (1)名称:第1ガソリン脱硫装置
 - (2)能力:35,000BSD
 - (3)投資額:約45億円
 - (4)工期:2004年7月15日~2005年4月30日
 - (5)施工:日揮株式会社
4. 自動車用燃料油の低硫黄化に関する国の規制では、現在、ガソリン・軽油ともに硫黄分50ppm以下となっておりますが、軽油については2007年、ガソリンについては2008年までに硫黄分を10ppm以下に低減することが求められる見通しです。
5. 当社グループでは、こうした規制強化に先駆けて、本年1月からサルファーフリーのガソリン・軽油をグループの全製油所から出荷しておりますが、今回の竣工で、サルファーフリー化のための設備対応が全て完了したことになります。

● 【参考資料】

 [竣工した「サルファーフリーガソリン生産設備」の写真\(PDF:44KB\)](#)

以上